

桜

おうか

花

爛

らんまん

漫

春の訪れを感じさせてくれる桜。

寄居町は、桜の名所として親しまれ、

3月下旬ごろから、桜花爛漫なまち並みを

楽しむことができます。

一面に咲き乱れる鮮やかな

ピンク色をつける桜は、

見る人の心を惹きつけます。

寄居の春を探しに、

散策してみたいかがでしょうか。

鉢形城の桜

エドヒガン

愛称 一氏邦桜

町の天然記念物に指定されている鉢形城の桜・エドヒガンは、鉢形城公園内の堀の斜面に力強く自生しており、樹齢は150年を超えるといわれています。エドヒガンの愛称は、この地を治めていた鉢形城主・北条氏邦にちなんで「氏邦桜」と名付けられました。氏邦桜の開花時期は、3月下旬ごろで、日本の代表的な桜、ソメイヨシノより一足先に開花します。一重咲きの淡い紅色が特徴で、笠鉾状に咲き誇り、桜の樹高は約18m、枝張りは東西約23.5m、南北約21.8mと非常に迫力があり、時が経つのを忘れてしまうほど漂々しい佇まいに見入ってしまいます。また、周辺には、町の花である「カタクリ」も自生しており、ピンクや赤紫色をした可憐な花を咲かせます。周辺の散策とあわせてお楽しみください。

寄居町大字 鉢形 2496-2



男衾自然公園

広大な園内に約1,500本の桜が植樹されている男衾自然公園。中でも、淡紅色の花をつける「アーコレード」という品種は、「男衾桜」とも呼ばれています。二季咲きの男衾桜は、春と秋の両方楽しむことができるのも魅力です。山の標高は171mと低く、体力づくりや散歩にもおすすめです。頂上からは、赤城山や筑波山など、北関東にある日本百名山を眺めることができます。また、山一面を彩る桜に加え、カタクリや萩など、さまざまな草木も自生し、自然を満喫することができる公園です。

寄居町大字 富田 地内



鐘撞堂山

町の北部に位置する鐘撞堂山は、標高約330mの日帰り登山が楽しめる山として、ハイカーたちに人気のスポットです。鐘撞堂山は、戦国時代に、鉢形城の見張りの山として、敵が襲ってきたときに鐘を鳴らして知らせたことからこの名が付いたといわれています。頂上まで登ると、満開の桜がハイカーたちを出迎えます。頂上には東屋があり、ハイカーの憩いの場となっています。関東平野を一望できる景色と美しい桜の競演は、登山した人のみ味わうことができる特別な風景です。

寄居町大字 桜沢 地内



かわせみ河原

寄居町の中心部を流れる荒川のかわせみ河原は、キャンプやバーベキューなどのアウトドアが一年中楽しめるアクティビティスポットです。かわせみ河原周辺も花見におすすめのスポットで、道路沿いの桜が開花し、訪れた人を温かく出迎えます。川遊びときれいに咲く桜の風景が広がるかわせみ河原の付近には、埼玉県立川の博物館があり、グループや家族連れで賑わいます。

寄居町大字 保田原 321 番先



三ヶ山緑地公園

三ヶ山緑地公園は、埼玉県環境整備センターの敷地内にある公園で、防災調節池の周辺には桜並木が続いており、ウォーキングをしながら桜を満喫することができます。道路を覆うように咲く桜は、まるで桜のトンネル。空を映す池の青色と満開の桜のピンク色のコントラストが美しい景観を演出し、池の周辺に設置されている水辺テラスでは、優しい風で舞い踊る桜並木を鑑賞することができます。

寄居町大字 三ヶ山 地内



寺山さくら農園

折原地区にある寺山さくら農園は、「一年中さくらに出会える町よりい実行委員会」や地域の方々によって整備されています。のどかな風景が広がる農園には、400本以上の大輪の花をつける陽光桜などが植樹され、一面に広がる風景はまさに桃源郷。鮮やかな白やピンクの桜が頭上にまで広がり、来園者を優しく包み込みます。

寄居町大字 折原 地内

